

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

30年 7月 23日

三田市議会議長 今北 義明 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	多 宮 健 二	印
		議員名		
派遣者氏名				
視 察 先	山形県上山市 天童市			
調査事項 (調査目的)	上山市 「かみのやま健康マイレージ事業」 天童市 「駒やかカイゼン運動事業」 「結婚サポーター事業」			
日 時	30年 7月 4日 (水) ～ 30年 7月 5日 (木)			
視察先対応者	上山市 健康推進課 健康増進係長 尾形 洋介氏 天童市 総務部 市長公室 室長補佐兼政策企画係長 武田 芳仁氏 総務部 市長公室 室長補佐兼まちづくり推進係 係長 長澤 和彦氏 行政主査 栗原 美幸氏			
添付資料	・上山市名刺コピー ・平成30年度かみのやま健康マイレージ事業 ・上山の状況・かみのやま健康マイレージ ポイントを貯めて楽しく健康づくりをしましょう ・健康マイレージカード ・天童市名刺コピー ・天童市の「駒やかカイゼン運動」について ・平成28年度駒やかカイゼン運動一覧表 ・結婚サポーターについて			

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	30年 7月 4日 (水)	14時45分～ 16時15分
視察先	山形県上山市	
調査事項	かみのやま健康マイレージ事業	
(調査結果の概要及び所見)		
別紙添付		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	30年 7月 5日 (木)	9時30分～ 11時30分
視察先	山形県上天童市	
調査事項	駒やかカイゼン運動事業 結婚サポーター事業	
(調査結果の概要及び所見)		
別紙添付		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

平成 30 年 7 月 13 日

新政みらい会派視察報告書

多宮健二

視察日・視察場所 ①平成 30 年 7 月 4 日（水曜日）山形県上山市

②平成 30 年 7 月 5 日（木曜日）山形県天童市

視察内容 ① かみのやま健康マイレージ（上山市）

② 1）駒やかカイゼン運動事業 2）結婚サポーター事業（天童市）

概要

① かみのやま健康マイレージ

上山市では健康推進計画として平成 26 年度より「湯ったり健康かみのやま 21（第 2 次行動計画）」が実施されている。それに伴い市民の健康意識の向上と行動変容を図ることを目的に、かつ楽しく健康づくりができる仕組みとしてかみのやま健康マイレージ事業に取り組む。

当初は、検診や健康教室などに、それぞれポイントを定め、達成した方全員に市内の商業施設の商品券を渡す方法を考えていたが、事業調整段階で、物で釣るような方法は好ましくはないとのことから、やり直しとなる。

他の方法を検討した結果、静岡県において実施されている「ポイントを貯めると、店舗でサービスが受けられるカードがもらえる。」という方法に至った。

平成 26 年 2 月 事業決定

2 月 21 日 上山市観光物産協会へ協力依頼

3 月 5 日 連合商店街設立準備会において説明

3 月 18 日 上山市観光物産協会理事会において説明

4 月 要項、説明書、カードなど作成

5 月 7 日 協力店依頼の通知発送（285 通）

6 月 各地区公民館などにポスター・カード配布

6 月 15 日 事業スタート

所見

かみのやま健康マイレージでは、ポイントを集団で行う運動や教室への参加一回 10 ポイントのコースと、毎日コツコツ個人で行う行動に 1 ポイントが付与されるコースがあり、共に 30 ポイントを貯めるように参加者に取り組んでもらう。これは個人の申告で行われている。貯まったポイントに関しては、市の事業として年度末の行われる健康グッズ抽選会の抽選券と、同時に県事業のやまがた健康づくり応援カードも発行され、このカー

下の提示で協力店のサービスが受けられるとしており、一年でリセットされる。まず、無理のない取り組み内容で、誰もが30ポイント達成できるものであり、高齢の方が多いいことから、ポイントカードは紙ベースで参加者自身が記入する方式をさいようしており、参加しやすくなっている。三田市でもマスターズマラソンなどの会場で健康グッズの抽選会を行うなど、一年を通じてのイベントとして、健康マイレージを運用できるのではないかと思う。また、当初はポイント目的で集団活動に参加してもらえれば、そのことがきっかけでコミュニティー強化のつながるのではないかとも考える。予算的にも大きなものではなく、また、市内企業などへ協賛を依頼することにより、市民から喜ばれる事業になるとともに、市民の健康寿命にも効果があると考えられるので、今後の市の取り組み内容次第ではかみやま健康マイレージを参考に意見していきたいと思う。

概要

② 1) 駒やかカイゼン運動事業

天童市において平成25年度より、細やかな行政サービスの提供と、生産量日本一を誇る将棋駒をかけ合わせた「駒やかカイゼン運動」を実施。

各課に配置された業務改善リーダーを中心に、市民サービスの向上や業務の効率化、経費の削減などにつながる取り組みを1課1提案以上で実施するものであり、職員の資質向上や政策形成能力の向上を目的とした事業。

所見

天童市の業務改善運動は昭和35年から取り組まれたが、申請件数が減少傾向にあり、近年では年間の提案件数が0のこともあったが、行政に対する市民の評価が厳しくなっている状況を踏まえ、職員の自発的な改善の取り組みが必要とし、現市長が公約に市役所改革を掲げたとのこと。ただ、必ず提案しなくてはならないことから、職員数が減少する中、他の実務を抱え、現実的には継続して行える事業ではなく、現在は一旦取り組みをやめているとのことであった。このことは、三田市でも同じで、同様の事業を行っても、職員数が減少し実務量が増える中で、職員の理想像を求めても定着はしないと考える。まずは、明るい職場雰囲気を作り出せるよう工夫し、提案よりも誰もが能力を発揮できるような環境を整える策を講じるべきであり、その結果が、様々な提案につながっていくと考える。

概要

③ 2) 結婚サポーター

近年の晩婚化及び未婚化対策を図るため、平成29年度より、天童市結婚サポーター事業に取り組む。

活動内容としては、①独身男女の出会いの機会の創出につながる活動 ②独身男女の交際から結婚に至るまでの支援活動 ③ ①②の他、結婚支援につながる活動とし、サポーターになる登録要件は市内在住で20歳以上、ボランティアとして活動できる者としている。

サポーターは結婚や交際希望を抱く方たちのマッチングを行う事業。

所見

天童市ではまだ取り組みから日が浅いこともあり、成婚カップルは誕生していない。この事業のサポーターとは、昔の日々お見合い相手を探す、仲人のようなものだと思う。天童市は将棋駒や果物生産が盛んなところで、三田市とは大きく環境が異なることから、結婚サポーター事業については、急いで取り組むべき事業ではないと考える。三田市の場合は民間でも婚活イベントが行われており、市が事業化しても効果は薄いと思う。ただ、晩婚化、未婚化は全国的な問題でもあるので、三田市の婚姻の推移も注視しながら、必要が生じたときには参考にしたいと思います。